

スタンダード版

全般の機能

- Windows® デスクトップ、UNIX®/Linux® や Windows サーバ、IBM® System i プラットフォームに対するデータの可搬性と相互運用性
- EBCDIC/ASCII コードの相互変換 (シングルバイトの 10 言語に対応した変換テーブル)
- メインフレームからデスクトップへの転送時に便利な、PKSFX 自己抽出型 ZIP アーカイブファイルの生成
- シーケンシャルファイル、PDS、PDS/E、VSAM データセット、磁気テープの各ファイルハンドラをサポート
- 拡張されたファイルハンドルにより、最大 17 までの異なる RECFM をサポート
- GDG と GDG ベースのグループをサポート
- 非SMP/E とSMP/E のどちらの環境へもインストールが可能
- 状況に応じたインターフェースで利用可能 (JCLによるバッチ処理、TSO コマンド、ISPF インタフェース)
- REXX、COBOL、Assembler など外部プログラムからの利用
- シミュレーションモードにより確認時のリソースを節約
- 32 ビット CRC エラーチェックにより、ZIPファイルの整合性を検証
- デバイスの自動検出
- 既定の動作設定がカスタマイズ可能
- 統合されたヘルプ機能

セキュリティ機能

- 統合暗号化サービス機能 (ICSF) と連携し、IBMのハードウェアまたはソフトウェアベースの暗号化機能を強化
- 暗号化のエンジンには実績と信頼性のあるRSA® BSAFE®を採用し、AES (FIPS 197準拠)と3DESアルゴリズムによる、ファイルとファイル名の暗号化が可能
- パスフレーズ(パスワード)による保護
- 各種プラットフォーム上のSecureZIPによって、X.509デジタル証明書やパスワードを使用して暗号化、署名された ZIP ファイルに対して、復号化と認証が可能

圧縮機能

- テープ処理の拡張により、テープに対する読み書きに必要なI/Oと経過時間を大幅に削減
- DCB 情報を保持したまま圧縮・展開
- ファイルサイズを最大 95% 縮小
- 9エクサバイトまでの大規模サイズのアーカイブをサポート
- 複数の圧縮フォーマットをサポート
- GZIP 互換機能

エンタープライズ版 — スタンダード版の機能に高度なセキュリティ機能をプラス

高度なセキュリティ機能

- PKI 環境と非 PKI 環境との間を埋めるために、デジタル証明書による暗号化とパスフレーズによる暗号化の両方を装備
- 証明書ベースの暗号化は、AES もしくは 3DES アルゴリズムを使用
- RACF、CA-ACF2、CA-Top Secret に対応し、秘密鍵は安全に格納
- ファイルのデジタル署名と署名の検証
- 証明書失効リスト (CRL) チェックにより、ファイルの署名と暗号化の有効性を検証

ディレクトリ統合機能

- デジタル証明書が格納されている Microsoft® Active Directory® や iPlanet™ などのLDAP 準拠ディレクトリに対するアクセス
- 共通名またはメールアドレスを元にして、暗号化に必要な受信者の公開鍵をLDAP準拠ディレクトリから取得可能

システム最小要件

- OS/390® 2.10 または z/OS